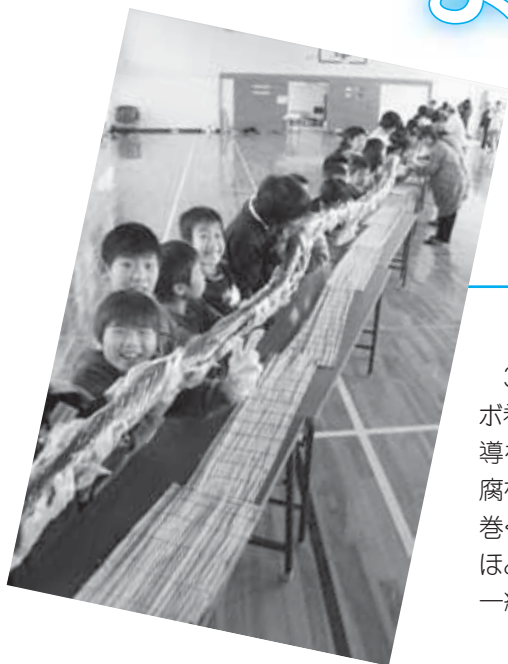


まちかど アルバム



気高町中央公民館

やった！ジャンボ巻き寿司大成功

3月10日（土）、気高町中央公民館で「けたかつ子祭り」が開催され、ジャンボ巻き寿司づくりが行われました。60人の子どもたちが地元のお寿司屋さんの指導を受けながら、慎重に並べた海苔の上に酢飯を広げ、卵焼き、でんぶ、高野豆腐などの具を乗せていきました。そして「そ〜れ」の掛け声に合わせていっせいに巻くと、長さ23メートルのジャンボ巻き寿司ができました。子どもたちは、20センチほどに切り分けられた巻き寿司に笑顔でかぶりつき、地元の食材でつくった豚汁と一緒においしそうに味わっていました。

国府町中央公民館

ほほえみを子どもたちに

3月5日（月）、国府町中央公民館で「ほほえみコンサート」が開催されました。これは宮ノ下小学校の学校行事として行われたもので、鳥取市河原町出身で大阪フィルハーモニー交響楽団コントラバス首席奏者の新真二さんほか4人の奏者が、クラシックやポップス、子どもたちのよく知っている童謡など幅広いジャンルの曲を演奏しました。子どもたちは、日ごろ聞く機会のない生の楽器の音に興味深げに耳を傾けていました。



福部町中央公民館

3館6室の図書館システムが統合

平成18年12月から進めていた図書館のコンピュータシステムの統合が完了し、3月14日（水）、福部町中央公民館の図書室で稼働式が行われました。式典では、福部幼稚園の園児が新しく発行された貸出カードを使って、お気に入りの絵本などを借りていました。このシステムを利用すると、1枚の貸出カードで市内3つの市立図書館と6つの中央公民館図書室、5台の移動図書館車のどこからでも本を借りることができます。インターネットで24時間、合計48万冊の蔵書情報を検索したり貸出の予約をしたりすることができます。



国際交流プラザ

スポーツに国境なし

3月10日（土）、湖山町西一丁目の国際交流プラザで、「国際交流卓球大会」が開催されました。これは、市内在住の外国人と市民との交流を推進するために開催されたもので、8回目となる今年は中国からの留学生など20人の外国人と、気高中学校卓球部所属の女子中学生など7人が参加しました。試合は混合ダブルス方式のトーナメントで、サーブやスマッシュが決まるたびに会場内は大きな歓声に包まれ、参加したみなさんは心地よい汗を流しながら交流を深めました。





一人でも多くの人に感動を届けたい

3月5日(月)、本市出身の女優蓮佛美沙子さんが、ヒロインを演じている映画「バッテリー」をPRするため竹内市長を訪問しました。この映画は、あさのあつこさん原作の同名の小説を映画化したものですが、一人の少年が野球を通して家族や友人の大切さを知り成長していく姿を描いた作品で、本市教育委員会も後援しています。蓮佛さんは、「鳥取に帰ってくると気持ちが落ち着く。これからも鳥取を大事にしていきたい」と笑顔で語っていました。みなさんぜひ、蓮佛さんのはつらつとした演技をスクリーンでご覧ください。

鹿野町中央公民館

おやじパワーを再発見

3月4日(日)、鹿野町中央公民館で料理教室「燻製～アウトドア達人への道～」が開催されました。父親の家庭教育参画を促す子育て講座の一環として、「鹿野小学校PTA おやじ倶楽部」の協力により実現したもので、ゆで卵やチーズのほか、あらかじめ数日間塩水に漬け込んだ鶏肉やヤマメなどを使った簡単な燻製づくりに多くの親子が挑戦しました。おやじ倶楽部のみなさんはできたてのスモークチキンをほおばりながら、「おやじパワーをしっかりと充電して、子どもたちと楽しい休日を過ごしたい」と熱く語っていました。



用瀬地域

アフリカンミュージックを楽しもう

2月28日(水)、アフリカのギニア共和国出身で倉吉市在住のミュージシャン、アラマ・ジュバテさんが用瀬地域の保育園を訪問しました。アラマさんは、自作の「ジェンベ」というアフリカの太鼓を使って激しいリズムの曲を演奏したあと、子どもたちに太鼓の叩き方を指導。また、独特の歌声でアフリカの歌を披露すると、子どもたちはリズムに合わせて身体を動かしたり、歌ったりしました。「貝殻節」や「ふるさと」のメロディーも織りまぜながらの演奏会に、子どもたちは覚えてのギニアの言葉を真似ながらアラマさんと触れ合いました。



佐治町中央公民館ほか

学ぶ楽しさ、創る喜びを再発見

3月2日(金)から4日(日)まで「佐治町公民館まつり」が開催され、工芸展や福祉講演会、芸能発表会が行われました。工芸展では、公民館での趣味の教室に参加したみなさんがこれまで学んできた成果として作品などを展示。芸能発表会では、太鼓好きの子どもたちが毎週集まって練習を続けている和太鼓チーム「巖流こぶし太鼓」による力強い演奏や、佐治の伝統産業、和紙づくりをテーマにものづくりの喜



びと労働の辛さを踊りにした「佐治和紙抄踊」が披露されるなど、学び遊ぶ楽しさ、創り伝える喜びを再発見する催しとなりました。

市内各所

悪質商法から市民を守る

3月13日(火)、市内の大型ショッピングセンター2カ所で、鳥取市消費者団体連絡協議会が、「消費者啓発街頭広報」を行いました。近年、悪質商法はますます巧妙化し被害も増加する一方ですが、これは、その被害を少しでも減らそうと計画したもので、同協議会会員12人と市職員2人が、ショッピングセンターから出てくる市民のみなさん一人ひとりに、悪質商法の手口などを解説したチラシを手渡して注意を呼びかけました。

